

# 「インドネシア西スマトラ州パダン沖地震災害」に対する 国際消防救助隊の派遣について（最終報）

平成21年10月8日（木）19時30分  
消 防 庁

## 1 地震の概要

- ① 発生日時 平成21年9月30日（水）19時16分頃  
（現地時間9月30日17時16分頃 ※時差：当地－2時間）
- ② 震央地名 インドネシア・スマトラ島南部インド洋上（南緯0.9°、東経99.9°）
- ③ 震源の深さ 約81km
- ④ 規模 マグニチュード7.6
- ⑤ 津波 この地震による日本への津波はなかった

## 2 派遣期間及び派遣先

平成21年10月1日（木）～10月8日（木）  
インドネシア共和国（パダン市）

## 3 派遣隊の構成

国際緊急援助隊救助チーム 65名  
（総務省消防庁・警察庁・海上保安庁・外務省・JICA等からなる混成チーム）  
うち

国際消防救助隊（IRT-JF） 計17名  
（内訳）総務省消防庁（国際緊急援助隊救助チーム副団長） 1名  
東京消防庁（国際緊急援助隊救助チーム中隊長等） 6名  
札幌市消防局 3名  
福岡市消防局 3名  
さいたま市消防局 2名  
横須賀市消防局 2名

## 4 派遣経過

### 10月1日（木）

- ・ インドネシア政府より我が国政府に対して援助要請があり、日本国政府が国際緊急援助隊救助チームの派遣を決定。
- ・ 消防庁長官が国際消防救助隊（IRT-JF）の派遣について、各担当登録本部に派遣準備を要請。成田空港第2旅客ターミナルP2特別待合室に19:00までの集結を指示。
- ・ 23:05 国際消防救助隊を含む国際緊急援助隊救助チームがJALチャーター機で成田を出発。

以下、現地時刻

### 10月2日（金）

- ・ 03:55 ジャカルタ着。隊員と救助犬は8:00 ジャカルタ発、09:40 パダン着。資機材は11:45 ジャカルタ発、16:45 パダン着。
- ・ パダン到着後、現地政府災害対策本部での打合せ、被災現場偵察、国際緊急援助隊指揮本部設置場所の確保等の後、「アンバチャンホテル」で17:20 捜索活動開始。

- ・ 「アンバチャンホテル」での捜索活動の結果、生存者反応がないため、19:00に活動を一旦終了。パダン市内の「セントラルマーケット」へ移動し、被害評価及び捜索活動を実施。

#### 10月3日（土）

- ・ 04:30「セントラルマーケット」での捜索活動の結果、生存者反応がないため、一旦活動を終了し、国際緊急援助隊指揮本部で待機。
- ・ 10:40 10名程度の小隊がパダン北方の「パリアマン」に移動し、市街地周辺の山地で被害調査活動を実施。（当初、オーストラリア隊と合同でパダン南方に向かう予定であったが変更。）
- ・ 本隊は終日パダン市内「サワハン・ストリート」及び「アンダラス・ストリート」付近の市街地の被害評価及び崩壊建物での捜索活動を実施。
- ・ 21:00 日本隊指揮本部で、国連主催の各国救助隊の調整会議開催（日本含め9ヶ国参加）、捜索活動における各国の協力を協議。

#### 10月4日（日）

- ・ 国連の割り振りに従い、午前中は全隊員でパダン市内の「ロッキーホテル」で捜索活動を実施したが、生存者反応はなし。
- ・ 午後は国際緊急援助隊指揮本部で待機。

#### 10月5日（月）

- ・ インドネシア政府及び現地の国連災害評価チームと協議の上、救助チームは5日に現地の任務を終了し、帰国することが決定。
- ・ 6日午後にパダンを離れ、7日 22:15 ジャカルタから日本に向け出発し、8日 7:45（日本時間）に成田に到着する予定である旨も公表。
- ・ 夕刻、救助チーム幹部が西スマトラ州知事を表敬訪問。

#### 10月6日（火）

- ・ 14:26 国際緊急援助隊救助チーム、チャーター機でパダン発。16:00 ジャカルタ着。

#### 10月7日（水）

- ・ 09:00 在インドネシア日本国特命全権大使を表敬訪問。
- ・ 10:00 インドネシア国家防災庁副長官・同次官を訪問し、活動経過報告。
- ・ 22:15 国際緊急援助隊救助チーム、JA726 便でジャカルタ発。

以下、日本時刻

10月8日（木）

- ・ 07:30 成田空港到着。08:30 国際緊急援助隊（JDR）救助チーム解団式。
- ・ 09:30 国際消防救助隊、成田空港発。10:45 総務省消防庁帰庁。
- ・ 11:45 原口総務大臣に対し執務室に於いて活動報告。12:10 国際消防救助隊解隊式。

（以上）